

豊松協働支援センターだより・“結い”

〜〜 笑顔で暮らせる 持続可能な地域づくり 〜



令和2年12月16日
豊松協働支援
センター発行
第39号

神石高原町ホームページより

神石高原町誕生以後の世帯・人口・高齢化率の推移

豊松地区内の各地域別（自治振興会）世帯数・人口・高齢化率・定住率をお知らせします。

【上豊松】		(世帯)		(人)		65歳以上	合併当時と比較		
年月日	世帯数	男	女	合計	高齢化率	経過年	世帯数	人口	定住率
H16.12.1	192	281	313	594	41.6%	合併時			
H21.4.1	211	266	297	563	42.6%	5年後	19	-31	94.8%
H26.4.1	206	225	266	491	43.8%	10年後	14	-103	82.7%
H31.4.1	201	193	224	417	50.4%	15年後	9	-177	70.2%
R2.4.1	206	190	222	412	49.5%	16年後	14	-182	69.4%
R2.9.1	206	189	219	408	50.5%	現在	14	-186	68.7%

【下豊松】		(世帯)		(人)		65歳以上	合併当時と比較		
年月日	世帯数	男	女	合計	高齢化率	経過年	世帯数	人口	定住率
H16.12.1	181	246	287	533	38.3%	合併時			
H21.4.1	172	219	246	465	42.2%	5年後	-9	-68	87.2%
H26.4.1	166	198	219	417	43.2%	10年後	-15	-116	78.2%
H31.4.1	152	172	189	361	46.3%	15年後	-29	-172	67.7%
R2.4.1	151	171	187	358	45.3%	16年後	-30	-175	67.2%
R2.9.1	153	173	189	362	44.8%	現在	-28	-171	67.9%

【笹尾】		(世帯)		(人)		65歳以上	合併当時と比較		
年月日	世帯数	男	女	合計	高齢化率	経過年	世帯数	人口	定住率
H16.12.1	86	118	122	240	50.8%	合併時			
H21.4.1	77	97	112	209	50.7%	5年後	-9	-31	87.1%
H26.4.1	78	83	105	188	54.8%	10年後	-8	-52	78.3%
H31.4.1	69	67	78	145	63.5%	15年後	-17	-95	60.4%
R2.4.1	67	67	73	140	65.0%	16年後	-19	-100	58.3%
R2.9.1	66	66	72	138	66.7%	現在	-20	-102	57.5%

【有木】		(世帯)		(人)		65歳以上	合併当時と比較		
年月日	世帯数	男	女	合計	高齢化率	経過年	世帯数	人口	定住率
H16.12.1	145	239	238	477	44.9%	合併時			
H21.4.1	143	213	214	427	47.5%	5年後	-2	-50	89.5%
H26.4.1	133	176	164	340	54.4%	10年後	-12	-137	71.3%
H31.4.1	134	149	146	295	60.3%	15年後	-11	-182	61.8%
R2.4.1	127	145	139	284	60.9%	16年後	-18	-193	59.5%
R2.9.1	128	145	136	281	62.3%	現在	-17	-196	58.9%

【豊松】		(世帯)		(人)		65歳以上	合併当時と比較		
年月日	世帯数	男	女	合計	高齢化率	経過年	世帯数	人口	定住率
H16.12.1	604	884	960	1,844	42.7%	合併時			
H21.4.1	603	795	869	1,664	44.8%	5年後	-1	-180	90.2%
H26.4.1	583	682	754	1,436	47.6%	10年後	-21	-408	77.9%
H31.4.1	556	581	637	1,218	53.1%	15年後	-48	-626	66.1%
R2.4.1	551	573	621	1,194	52.8%	16年後	-53	-650	64.8%
R2.9.1	553	573	616	1,189	53.4%	現在	-51	-655	64.5%

定住とは、一定の場所に住居を決めて生活を営むこと。たんに余暇を楽しむといった潜在的なものではなく、自治体支援を活用しながら、その地に「定着」し、持続的な暮らしをすること。

合併から今日までの定住率が上豊松・下豊松の68%に対し、笹尾・有木は58%と約10%の開きがあり、高齢化率では下豊松45%・上豊松50%・有木62%・笹尾67%と地域によって大きい差があります。

現在、過去5年間の取組みを総括し「第2期豊松地区むらづくり計画策定委員会」において検討する中で、今後の定住対策や安心安全なむらづくりの方向性を打ち出すこととしています。（地域の皆さんの意見をお聞きし、3月には策定した内容を公表する予定です。）

町では、令和2年3月に策定された「第2期総合戦略（安心幸せプラン2024）5ヶ年計画」で子育てしやすく、若者が働きたくなる職場や環境を確保し、他地域からの交流人口を増やし、快適な日常生活が送れるまちづくりをめざすこととしています。また、我が町の40年先（2060年）の目標人口は「4,800人」と設定しています。

何れにしても、町と地区・地域がしっかり手を組み、連携したむらづくりをより具体的に推進することが私たちに求められています。是非とも、皆様のご理解とご協力をお願いします。 豊松協働支援センター長

「思惟の森」が毎尾の平郡地域に日常を離れ癒しの空間を提供する民営型ゲストハウスとして11月23日にオープン。素泊一人六千五百円、原則自炊で食事支援も可能。田舎料理や農業体験、地元イベントとの連携も視野に、少しでも地域の力になれば良いです。(李さん取材)



毎月定例の下豊松サロン



観光協会主催の雲海に参加した方からの投稿(匿名)

最高級の雲海を楽しむことができて、感激しました。すばらしい景色とともに、スタッフの皆様への心遣い、町を想う気持ちが伝わり大変良い体験をさせていただきました。感謝しています。(抜粋)

読者の方からの「うわしいな、ホットしたなあ」の声を募集しています。皆さんの投稿をお待ちしています。

編集事務局

保健委員研修情報

【悩みの相談窓口】

・コロナに感染かも

電話 082-513-2567

・こころの悩み

電話 082-221-4343

・訪問販売、勧誘電話

電話 0847-89-3088

・生活困窮など

電話 0847-89-3335

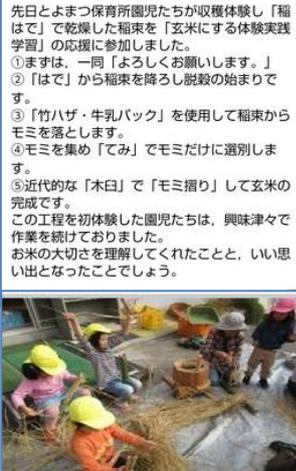
3密を避けた生活

豊松協働支援センターフェイスブックから

豊松小学校児童による芋ほり体験(10月26日)

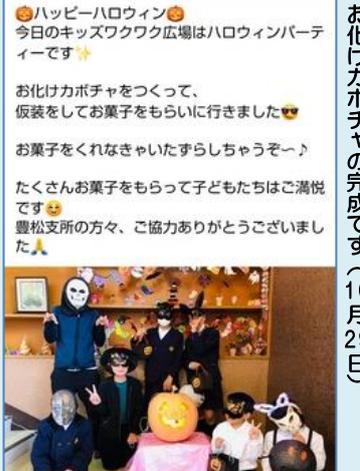


とよまつ保育所園児が米の収穫体験(10月28日)



先日とよまつ保育所園児たちが収穫体験「稲はて」で乾燥した稲束を「玄米にする体験実践学習」の応援に参加しました。
①まずは、一同「よろしくお祈りします。」
②「はて」から稲束を降ろし脱穀の始まりです。
③「竹ハザ・牛乳パック」を使用して稲束からモミを落とします。
④モミを集めて「てみ」でモミだけに選別します。
⑤近代的な「木臼」で「モミ搗り」して玄米の完成です。
この工程を初体験した園児たちは、興味津々で作業を続けておりました。
お米の大切さを理解してくれたこと、いい思い出となったことでしょう。

おげけカボチャの完成です(10月29日)



天空タワーからの雲海は抜群(10月31日)



「いっしょにお米を食べよう」と招待状(11月4日)



備前焼の「丑」に大満足(11月7日)



豊スポによる落ち葉拾い(11月12日)



景色はまるで天空の瀬戸内海(11月15日)



参加者募集のお知らせ

第4回ものづくり教室
～手ぬぐいに型染め挑戦!!～

日時: 1月9日(土曜日) 14時～16時
場所: 豊松協働支援センター
講師: 若林 佐都子先生
材料代: 500円
持参物: ありません。
※ 次回は、3月13日です。

参加申込み 豊松協働支援センター 電話: 84-2226
申込み締切!! 12月28日(月曜日)までお願いします。

ちゅうとよりんさいボランティアスタッフの皆さんへ (豊松協働支援センター長)

平成30年5月1日、皆様の発案で開設された地区内唯一のお休み処「ちゅうとよりんさい」を開設して以来、地区内外の多くの方々に親しまれ定着して参りました。多くボランティアスタッフの皆様の献身的なご奉仕によるもので、心から感謝申し上げます。引き続き「笑顔で暮らせる持続可能なむらづくり」のため、ご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

- (一部訂正のお知らせ)
- 結い第38号の一面上段左側
- 誤「第2回豊松むらづくり」
- 正「第2期豊松地区むらづくり計画」
- アンケート結果特集号の一面二段目
- 誤「豊松活動支援センター」
- 正「豊松協働支援センター」